

## 編集顧問

|       |       |
|-------|-------|
| 生田 房弘 | 臺 弘   |
| 大友 英一 | 金澤 一郎 |
| 酒田 英夫 | 佐野 圭司 |
| 島津 浩  | 杉田 秀夫 |
| 高倉 公朋 | 塚田 裕三 |
| 中里 洋一 | 彦坂 興秀 |
| 平山 恵造 | 藤澤浩四郎 |
| 真柳 佳昭 | 萬年 甫  |
| 水野 美邦 | 柳澤 信夫 |

## 編集委員

|             |       |
|-------------|-------|
| 岩田 誠 (編集主幹) |       |
| 石塚 典生       | 糸山 泰人 |
| 内山真一郎       | 梶 龍兒  |
| 河村 満        | 高坂 新一 |
| 作田 学        | 辻 省次  |
| 寺本 明        | 中込 忠好 |
| 中野 今治       | 水澤 英洋 |

## 編集同人

|       |       |
|-------|-------|
| 入來 篤史 | 岩田 淳  |
| 宇川 義一 | 内原 俊記 |
| 大隅 典子 | 岡部 繁男 |
| 神田 隆  | 木村 和美 |
| 久保 義弘 | 栗栖 薫  |
| 桑原 聡  | 小林 靖  |
| 斉藤 延人 | 砂田 芳秀 |
| 高橋 良輔 | 瀧山 嘉久 |
| 武田 伸一 | 千葉 厚郎 |
| 平田 幸一 | 寶金 清博 |
| 星 英司  | 星野 幹雄 |
| 本田 学  | 松野 彰  |

(五十音順)

## あとがき

今回の特集は「頸部頸動脈狭窄症の診断と治療」をテーマとしている。その中には、エビデンスに基づく治療戦略など、治療に関する話題が多く含まれている。神経内科領域では、古くから、「診断はできるが、治療法が確立していない」といわれることが多かったが、最近では、病態機序の解明が進み、分子標的治療と呼ばれるような、病態の進行を阻止する治療法の開発研究が発展しており、様変わりしてきている。その結果、神経内科の領域でも、「臨床研究」や、「治験」の重要性が増してきている。

最近になり、わが国でも、このような、「臨床研究」や、「治験」の制度の整備が進められてきている。「臨床研究」については「臨床研究に関する倫理指針」が整備されており、「治験」として実施する場合は、GCP (good clinical practice) 基準のもとで実施することが義務づけられるようになっている。わが国の制度では、「治験」は、「企業主導」のものと、「医師主導」のものがある。特に「医師主導の治験」を実施するには、治験を進めるためのチームの構成が必須となるが、わが国では、そのような環境整備は必ずしも進んでおらず、医師の負担には大きいものがある。TR (translational research) センターなど、少しずつその整備を目指した動きはあるものの、実際に、医師が自分自身で新たな治験を開始しようと考えた場合、そのハードルは、まだまだ高いといわざるを得ない。「臨床研究」や「医師主導の治験」を財政面で支える制度も、まだ十分ではないように思われる。ずいぶん前のことになるが、米国の Johns Hopkins 大学と共同で、副腎白質ジストロフィーについての臨床治験を計画したことがある。その際に驚いたことは、アカデミア中心で、治験を推進するチームが、いとも簡単に、すぐに立ち上がることであった。もちろん、生物統計学の専門家などもしっかり参加しており、このような分野で、米国の人材の豊富さ、層の厚さに驚いたことがある。日本では、トランスレーショナルリサーチと呼ばれるようなアカデミアの研究成果を診療に応用していくプロセスの支援体制がまだ十分には整備されておらず、いっそうの改革が望まれる。

医師主導の治験を支援する組織として、日本医師会の治験促進センターが設置され、さまざまな支援が行われるようになってきている。余談になるが、日本医師会の治験促進センターのウェブサイトの「臨床試験のための e Training Center」という e-ラーニングのページがある。このページは大変力の入った構成がされており、よくみかける e-ラーニングとは異なり、一皮むけた充実した内容になっている。設問の内容は、重要な点の理解を確認するような、難しいものが多いが、設問の内容や正解に対して疑問を感じる場合など、ウェブ上で随時フィードバックができるようになっており、他の受講者の感想なども閲覧できて楽しい。日本の「臨床研究」、「医師主導の治験」がこのくらい充実した内容のものとして発展することを願っている。

(辻 省次)

## BRAIN and NERVE

(第 62 巻 第 12 号)

2010 年 12 月 1 日 (毎月 1 回 1 日発行)

定価 2,730 円 [本体 2,600 + 税 5 % (配送料実費)]

[2010 年、年ぎめ予約購読料 35,460 円・電子ジャーナル閲覧

オプション付 46,100 円 (配送料弊社負担)]

販売部直通電話 (03) 3817-5659・5660

振替口座 00170-9-96693 番

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5701 (小藤・多淵・山崎)

FAX (03) 3815-7802

E-mail bn@igaku-shoin.co.jp

Web http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/bn

印刷所 ㈱アイワード

(011) 241-9341

広告申込所 ㈱ハイブリッジエージェンシー (03) 3814-0089

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2010, Printed in Japan.

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は㈱医学書院が保有します。

・JCOPY &lt;㈱出版者著作権管理機構委託出版物&gt;

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に㈱出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。